

川崎子ども連絡会

神奈川県臨調の議論にクギを

自民党市議団と懇談

川崎市こどもの医療費無料化を求める連絡会(代表・菊地弘毅協会川崎支部長。以下「連絡会」)は7月19日、自民党川崎市議団と小児医療費助成制度「以下①」の拡充をテーマに市政ヒアリング。協会からは稲木理事、事務局員が参加、市議団側は、浅野文直団長他9名の市議と、杉山信雄神奈川県議、衆議院議員田中和徳氏ら12名が対応した。

市が先鞭つけた

①存続を

懇談では冒頭連絡会が、政令市の55%が学童期まで、①②の対象年齢を中学校卒業まで拡大すること、と、小学校期の虫歯の罹患率に6割に上ること、増加の格差から、「子育て世帯の受診を要する」等に触れ、年齢拡大の必要性を訴える3点を要望。県下で8割、年齢拡大の必要性を訴える

た。浅野団長からは隣接する東京23区(中学校卒業まで所得制限なしで無料)と、市町村への補助事業が始められたこと、小児科の患者教育の実績をアピール。行政としての患者教育が必要とした。

が、「市町村・団体補助金の廃止」を打ち出したことについて連絡会は「①は県内で川崎市が先駆けて創設し、それを追う形で県から市町村への補助事業が始まった経緯がある」とし、臨調の乱暴な議論に市としてクギを刺すこと、仮に県

の補助金が廃止された場合でも、市としては制度発足の趣旨を踏まえ、②を存続するよう訴えた。杉山県議は「県議会で党としても『いきなり全廃は乱暴』と意見を述べている」とした。また市議団側から、「仮に市単独で②を存続するとすれば財政負担が大きくなる分、一部市民が持つ『ゴジビニ受診』への疑念の払拭が必要」との意見も出され、これに対し連絡会は「母親向け学習会を行い、小児科への適正なかかり方の普及に努めている」と医療者としての患者教育の実績をアピール。行政としての患者教育が必要とした。

私の隠れ家

郷土料理 でのぼう

郷土料理「でのぼう」は武蔵小杉駅近くにある和食のお店です。

店長は若手出身とのこと、で宮沢賢治がお好きで、岩手の三陸と山の幸をみなさんに味わって欲しいとの思いで12年前にこのお店を始められたそうです。

店長の熱い思いと優しい気配りが垣間見られるこだわりの味。仕入れも岩手にこだわっており、昨年の震災の被災



地でもある陸前高田の酒や醤油も使っているという。きつと東北人にとっては田舎に帰ったように味わえる逸品もあることでしょう。そもそもこのお店は川崎支部の稲木建郎先生のお気に入りのお店で、支部の

会でも使うようになり、今度も納涼会を兼ねた幹事会でも打ち合わせなど、支部の

座敷の個室もあり、ゆったり落ち着いて話せることも

あります。

さすが美食家。の稲木先生太鼓判のお店、出される料理の細部に気配りされた工夫もあり、出来立ての料理に美味しいお酒、会話も弾み楽しい会となりました。

冷えたビールで乾杯したところで前菜から始まり、なめこ

と冷たいなめこ

腐、さっぱり酢の物、大皿で枝豆、イカ揚げ、一人一人に揚げ立てのてんぷら盛り合わせ(エビ、キス、野菜など)。実はアジが美味しかったのだが今回は品切れで残念。なぜかサッパリ食べられる豚の角煮、新鮮な刺身(鯛、鯛、鯛)、脂ののったアツアツの鯖の塩焼き、サラリとした冷たい冷麺でしめ、デザートのアイスを頂く。程良いタイミングで次の料理が出てくることも嬉しい。

あれこれ10品と飲み放題、このボリュームで5千円とは満足ではないでしょうか。

たまには被災地岩手を応援するこんなお店で美味しいお酒とともに語り合おうか。

たまには被災地岩手を応援するこんなお店で美味しいお酒とともに語り合おうか。

冷えたビールで乾杯したところで前菜から始まり、なめこ

と冷たいなめこ



料理の一例。一人5,000円のコースで、この他枝豆やイカ揚げが付く(飲み放題付)

郷土料理 でのぼう
川崎市中原区小杉町3-445
☎044-733-4880
(営業時間等はお問合せください)

冷えたビールで乾杯したところで前菜から始まり、なめこと冷たいなめこ

突撃! ~これが私の診療です~

往診バック 中身拝見 内科編 第2回



(写真上)ポータブル心電図計 (写真左)喀痰吸引器

「希望によりそう医療」をモットーに、毎日7、8件の訪問診療を行う田村先生。「患者さんとのコミュニケーションが大切。きちんと説明をしたうえで本当の意味で希望に寄り添わなければならない」と話す。今回、往診道具を拝見させていただくとともに在宅医療についてお話を伺った。



田村 義民先生
信愛ホームケアクリニック(中原区) 北里大学卒業



一在宅医療に力を入れることとなったきっかけは?

「研修医のとき、研修プログラムの中で、3カ月ぐらいの間、診療所から往診を行っていました。そのときに、患者さんとの触れあいのなかでいつかは在宅医療に従事したいとの気持ちが強くなりました。そういった意味では研修医時代の経験は私にとって非常に大きかったと思います」

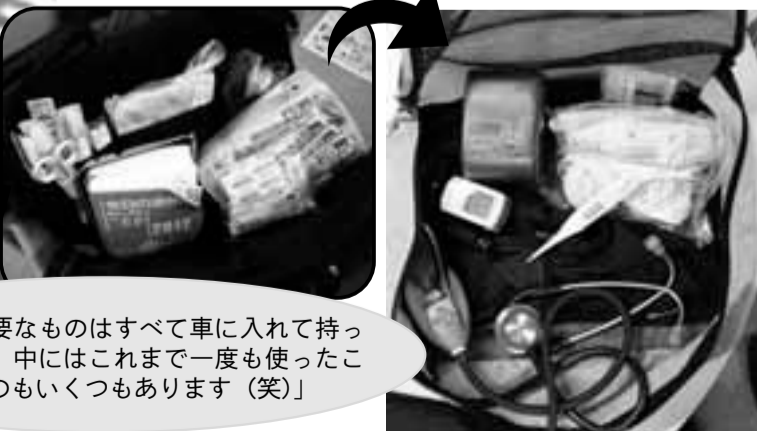
一苦労する点とやりがいを教えてください

「苦労する点としては老老介護の患者さんに薬の説明をしてもうまく伝わらなかつたりするところでしょうか。そんなときにケアマネさんや訪問看護師との連携が非常に大切になってきます。また、患者さんと長い付き合いになってくると患者さんのご家族を含めて生活全般を診ていくことができます。「ご家族とともにつくりあげていく」ことを実感できることが嬉しいですね」

一今後の意気込みを教えてください

「小さい診療所でひとりやっています。まわりの先生方、ケアマネさんと連携・協力して、より充実した在宅医療を行いたいですね」 (聞き手: O)

反対側のポケット



「その他必要なものはすべて車に入れて持っています。中にはこれまで一度も使ったことがないものもいくつかあります(笑)」

OPEN